

平成28年度「比良山系山岳パトロール実施報告書」

作成日：2016年7月29日

パトロール実施日	平成28年 7月24日(日) 天候 曇り
山岳会名(団体名)	東レ滋賀山岳部
参加人員 代表者名・人数	植田 武士 (4名)
実施コース (コースタイム) ・コース名に○印 ・具体的なコース (積雪状況等を含む)	(実施ルートを詳細に記載して下さい。) <ul style="list-style-type: none"> ・ ○A 蓬莱山コース ・ B ・ C ・ D ・ E 山麓駅→クロトノハゲ→打見山→蓬莱山→小女郎峠→ホッケ山→小女郎峠 (7:10) (9:35) (10:30) (11:10) (12:05) (12:25) (12:55) →蓬莱山→金比羅峠→山麓駅 (13:30) (14:05) (15:10)
(※) 登山届投函箱の 状況	(修繕等が必要なもの、筆記用具・記入用紙の状況、錠前の状況など記載して下さい。) 志賀駅前の投函箱: 異常なし
(※) 道標の状況	(破損しているもの、比良ロープウェイ・リフト等の名称が表記されており、修繕等が必要なものを記載して下さい。) 1. クロトノハゲの標識が壊れていた。(写真3) クロトノハゲから木戸峠方面の分岐に新たに黄色の「危険」テープを張り渡した。反対側の木戸峠側は今回は未確認・未処置。
(※) レスキューポ イントの状況	(表示板が破損していたり、取れかかっている箇所があったりすれば・場所名・標識No等を記載して下さい。) 携帯電話の通信状態のチェック・メーカー・機種別を記載して下さい。) 1. 蓬莱山より歩いてくるとレスキューポイント縦走21が木の裏になっていて見つけにくい。(写真10) 2. 他のレスキューポイントは問題なし。
(※) コースの状況	(橋の破損、通行止めの表示やロープの老朽化等の箇所があれば記載して下さい。) 1. クロトノハゲより木戸峠に向かうコースの橋が崩落していた。(写真4、5) 2. ホッケ山手前の登りに膝丈の草が登山道にかかるぐらいに茂っていた。 3. キタダカ道に比べ、金比羅峠から山麓駅へ向かうコースは登山道に石が多く、歩きにくい。
(※) その他	(コースがわかりにくく新たに道標が必要と思われる箇所、その他危険なため、何らかの対策が必要と思われる箇所等があれば記載して下さい。) 琵琶湖テラスがオープンしたばかりとあって、打見山周辺は大変ににぎわっていた。

<p>単独登山者に 付いて</p>	<p>(・年齢・男女の区分・登山コース・その他 等を記載して下さい) 見かけたのは、複数人パーティーの登山者のみ。</p>
<p>登山者への指導 等</p>	<p>(登山者の様子&状況、登山者への指導等をされた場合はその概要を記載して下さい。) 1. キタダカ道よりの登りで1組、蓬莱山山頂では3~5組ほどの登山者。登山届けは提出済みとのこと。 2. 蓬莱山~ホッケ山では犬を連れた2人組みとその他10組ほどの登山者に会う。 3. 金比羅峠からの下りでは一人の登山者とも遭遇せず。</p>

(※) 印：この報告書に記載されたコースの状況等で必要なものについては、比良山系登山情報のホームページに掲載しますので、速やかに報告して下さい。

・道標の新設・修繕やレスキューポイント表紙板の破損、危険箇所等については、地図上にその箇所を示すと共に、現状の写真を添付して下さい。

・「報告書」の送信先

【比良山遭難防止対策協議会 事務局】大津市総合防災課

(E-mail:hirasan@otsu.jp FAX:077-523-2202)



(写真1) 山麓駅から林道への分岐



(写真2) 山麓駅から林道への分岐



(写真3) クロトノハゲの道標が崩壊



(写真4) 写真5の位置



(写真5) クロトノハゲ～木戸峠間の崩落



(写真6) クロトノハゲから木戸峠方面の分岐 処置前



(写真7) クロトノハゲから木戸峠方面の分岐に新たに黄色の「危険」テープを張り渡した。



(写真8) キタダカ道 RP No 2



(写真9) キタダカ道 RP No 3



(写真10) 縦走 RP No 2 1



(写真11) 縦走 RP No 2 3



(写真12) 金ピラ峠 RP No 3



(写真13) 金ピラ峠 RP No2



(写真14) 金ピラ峠 RP No1

<本パトロール後の応急処置（平成28年8月11日）>

クロトノハゲより木戸峠に向かうコースの橋の崩落を受け、木戸峠側からもクロトノハゲ方面に向かうルートに黄色テープを張り、コース変更を促す旨の啓発していただきました。



(追加写真1) 黄色テープ処置前



(追加写真2) 黄色テープ処置後